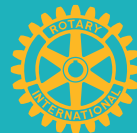




ロータリー：
変化をもたらす

RI第2510地区

留萌ロータリークラブ



会報

2017 ▶ 2018
WEEKLY REPORT

留萌ロータリークラブ
会長目標

親睦と奉仕で作る友の輪

会長／森 幹雄 幹事／阿部 洋一

プログラム

- | | | |
|---|------------------|------------------------------------|
| ●本日
情報集会「クラブ細則について」 | 会員誕生日
渡 邊 裕 久 | 結婚記念日
青 山 貴 幸
堀 光 輝
佐々木 繁 |
| ●次週予定
来賓卓話「ジャンプのお話」
平昌五輪スキージャンプ日本代表
伊藤 有希 選手 | | |

No. 2776
第29回 3月28日

出席報告

前
例
会

会員総数	36名
出免会員	4名
出免出席	3名
基準会員出席	19名
出席率	62.86%

前
々
会

第26回 2月28日

欠席会員	0名
内メイクアップ	0名
修正出席率	100%

例会／毎週水曜 12:15~13:15 留萌産業会館2F

🖋️ 会長報告

1. 本日臨時理事会を開催し、3月28日の例会を変更致しました。当初午後6時30分富丸でしたが、午後0時15分産業会館として通常例会になります。プログラムは情報集会として同じです。後ほどFAXにて皆様にはご連絡がいきますが、お間違えのない様をお願いします。

📁 幹事報告

- 深川RCより3月例会プログラムを受領しました。
- 札幌北RC所属の小林博PGが公益財団法人札幌ガンセミナーの医学専門家として「健康あつてのロータリー」という小冊子を書かれ、

各クラブに送付されてきましたので皆様に配布いたします。地区大会にて50代・60代の会員が物故者として紹介されるのを憂えたPGが、特に健康に気を付けて元気に長生きしてくださいと言うメッセージだと思います。

- 千歳RCより50周年記念式典の案内が届いております。只今1名の参加者がおりますが、留萌クラブも3年後には60周年を控えておりますので、周年事業を知らない人は参加してみるのも勉強になると思います。只今参加者を受け付けております。
- 台湾地震義援金の募金を2週間前に例会より行って参りましたが、28,895円のご寄付をいただきました。ご協力ありがとうございました。

愛好会

湯どうふ会

渡邊 愛好会会長

先日ご案内した湯どうふ会が、本日14日午後6時30分より富丸にて開催されます。すでに皆様にもご連絡があった北電所長の中井会員の送別会です。出欠をとりましたが、急に都合がついた方など出席出来るようになった会員さんも当日受付OKとなっておりますので、多くの会員さんの出席を望んでおります。よろしくお願ひします。

ニコニコBOX

- 大嶋会長エレクト P E T S 出席お疲れ様でした。中井会員この1年間大変お世話になりました。ありがとうございました。

森(幹)会長

- 1年間大変お世話になりました。ありがとうございました。中井会員

- P E T S の報告をさせていただきます。

大嶋会員

前 回 700,079円

今 回 9,000円

累 計 709,079円

プログラム

「PETSに参加して」 大嶋会長エレクト

皆様こんにちは。本日のプログラムを担当いたします。

演題は、3月10日～11日の2日間にわたって開催された、会長研修セミナーPETSの報告とさせていただきます。

まず初めに、1日目は、10時30分に点鐘し開会宣言、国歌斉唱、ロータリーソング奉仕の理想斉唱、参加者紹介と続きいつものお決まりのコースで始まりました。

そして、小山ガバナーエレクトより国際協議会参加の報告がありました、その内容を少しお話しします。

平成30年1月14日から21日まで米国サンディエゴで国際協議会が開催されました。全世界539地区からガバナーエレクトとその夫人、約1000名が一堂に会し、ロータリーの国際性を肌で感じながら、楽しい充実した一時を過ごすことが出来ました。

国際協議会は、ロータリーの知識と最新情報を学び、意欲を高めて、ガバナー就任に向けた準備をするための研修会です。

国際協議会のプログラムは、クラブの強化、人道的奉仕の増加、公共イメージの向上を柱とするロータリーの戦略計画化を中心に組まれていて、各研修リーダーによって制作された優れた内容のプログラムでした。

第1目の本会議で、2018～2019年度のバリー・ラシンR I次期会長による2018～2019年度のテーマ：「BE THE INSPIRATION」（インスピレーションになろう）発表がありました。また、テーマバッジのデザインはカリブの海を象徴するような波とカリブの灼熱の太陽を象徴するオレンジ・レッドから構成されているそうです。

続いて、2018～2019年度のバリー・ラシンR I次期会長の略歴についてお話になりました。

バリー・ラシンR I会長は、パハマ出身でパハマのニュープロビデンス島East Nassauロータリークラブ所属で保健・病院運営の専門家として医療機関の医院長を37年間勤められ、ロータリー最高の賞であるR I超我の奉仕賞ほか、2010年ハイチ地震後のロータリーによる災害救援活動を統率したことにより多くの人道賞を受賞しています。

そのあと、テーマ「インスピレーションになろう」の説明がありました。バリー・ラシンR I会長の講演の引用だそうですが、

「何か大きなことに挑戦しようというインスピレーションを、クラブやほかのロータリアンに与えてください。自分よりも長く、後世にも生き続けるものを生み出すために、行動を起こす意欲を引き出していきたいのです」

「ロータリアンの魂、すなわち、より良い世界への切望、そして、より良い世界をつくること

は可能だという、心の奥深くにある真の自覚を呼び起こすことから始めて下さい」

これは、具体的に何かを示すという事ではなく、会員一人一人がこのテーマの中に何を具体的に思い浮かべるか、会員同士が会話をし各クラブ全体の方向性を共感するところから次年度をスタートして頂きたいという事でした。InspirationはInspireの名詞形で、「創造的思想、閃き」、「鼓舞する人」等の意味を持つそうです。

続きまして、次年度の国際ロータリー目標が発表されました。

優先事項1 「クラブのサポートと強化」に関する目標

1. 現会員を維持する。
2. クラブの会員数を増やす。
3. 新クラブを結成する。
4. 女性会員、40歳未満の会員、ロータリーに入会するローターアクターの数を増やす。

2020年日本ロータリー創立100周年を迎えるに当たり、会員数の伸び悩み、高齢化等、転換期に来ていて、会員数を何とか増やしたいという事です。

新会員の維持率97%、既存会員の維持率92%、2510地区69クラブで、昨年11月30日現在で会員数2,638名で過去5年間の推移で21名増だそうです。マイロータリーの打込みデータでは男性94%、女性が6%、過去3年間で50歳以上の会員が34%だそうです。

この地区は12年間、新クラブが結成されていなく、最後に結成されたのは2005年の函館セントラルだそうです。

ラシン会長はローターアクターの数を倍増しようと提唱しているそうです。ローターアクターからロータリー会員への移行を会員増強の期待として挙げています。

優先項目2 「人道的奉仕の重点化と増加」に関する目標

5. ポリオ撲滅活動への現金寄付と地区から



DDF寄贈を増やす。

6. インターアクトとローターアクトが地元のローターアクトクラブや地域社会と一緒に、奉仕プロジェクト（環境関連プロジェクトを含む）に参加するよう促す。
 7. 年次基金への寄付を増やし、2025年までに20億2500万ドルの恒久基金を達成する。
- ポリオ撲滅はロータリーが1985年から始めている活動で、1988年にはポリオ発症数は35万人、2014年309人、2015年74人、2016年37人、2017年21人に減っているそうです。

これはロータリーが行った活動の成果だと思えます。皆さんも誇りに思ってください。

優先項目3 「公共イメージと認知度の向上」に関する目標

8. ポリオ撲滅におけるロータリーとロータリアンの役割の周知を図る。
9. ロータリーへの認識を高め、「世界を変える行動人」キャンペーンを推進する。
10. ロータリーショーケースとアイデア応援サイトを利用したり、クラブ史を記録することで、ロータリークラブのプロジェクトに対する認識を高める。

以上の国際ロータリーの目標の説明があり、続いて2018~2019年度国際ロータリー2510地区目標発表がありました。

「持続可能な絶え間なき変革のスタート」という事で3つの項目を挙げています。

1. 組織を活性化しよう

第28回 3月14日(水) 天候/晴

- (1) 会員の維持、増加の推進。
 - (2) 女性会員の増加。
 - (3) クラブ役員、地区委員への若手登用の推進。
2. ロータリーの認識・理解を深めよう
- (1) 会員研修の充実・強化。
 - (2) クラブ相互間、グループ相互間等のコミュニケーションの活発化。
 - (3) ガバナー月信の内容充実、電子化の推進。
3. 地域社会との関わり合いを深めよう
- (1) 人道的奉仕活動の推進、ロータリー財団補助金の活用。
 - (2) 青少年活動の支援・強化、地域社会との連携。
 - (3) 広聴活動の推進。

国際ロータリーの目標とダブるところがありますが、小山ガバナーが強調したいのは、2項目目のロータリーの認識・理解を深めようという事で、今の国際ロータリーの転換期を乗り切るために国際ロータリーがどのような方針でどこまで進んでいるのかを学び、国際ロータリーとの距離を縮めることが大事なことで、2018～2019年度はもっとロータリーを勉強しましょう、という事にしたいと言っていました。ロータリーを知ることが基本だという事です。

この後、次期研修リーダー熊沢PGによる基調講演、2017～2018年度予算案、地区組織、年間予定の説明がありました。

留萌ロータリークラブへのガバナー訪問は8月1日です。地区大会は10月21日札幌で行われます。

午前の部がやっと終わり昼からは、RI第1ゾーンロータリーコーディネーター酒井PGによる「クラブ運営の留意点」の講演があり「クラブ会長として最も重要なこととは」、「クラブ会長の責務」、「会員増強はなぜ大切なのか」、「クラブ運営の柔軟性とは」についてのお話がありました。

その後、各分科会に分かれて地区目標についてグループ討議があり、各クラブが同じような問題を持っているのだと思いました。

1日目の研修がやっと終わりました、長い1

日でした。

2日目は、ロータリー財団セミナーが行われました。

チャリティナビゲーターというアメリカの格付け機関があり、約9000団体の格付けをしている機関で最高得点の評価を受けたそうで、それは17年間連続だそうです。

財団セミナーでは、各地区委員会の報告があり、その中で地区補助金プログラムのお話があったのですが2510地区では39のクラブが補助金を使っているそうです。

1クラブ平均10万ちょいだそうです、補助金で何か事業を行おうとしても金額的に足りないもので、すでにやっている活動に一部資金として使ってほしい、そして余った余剰金で他の事業を行ってほしいとの事でした。

財団セミナーの後、米山セミナーが行われ、会長エレクトセミナーが無事終了しました。長くて、そして重たい2日間でした。この研修で私が一番感じたことは、ロータリーの基本は、やっぱり親睦なんだなと思いました。

以上、会長エレクトセミナー報告を終わります。